
プレスリリース

2015年9月8日 ロンドン

2015年度第2四半期において世界プラチナ市場は供給不足が継続する見込み

鉱山供給の増加と宝飾品売上の季節的低下を背景に、2015年度第1四半期比で供給不足が改善

投資家による需要増が総需要を引き上げ

2015年9月8日ロンドン: The World Platinum Investment Council (WPIC、ワールド・プラチナム・インベストメント・カウンシル)は本日、*Platinum Quarterly* 第4号の出版を発表しました。これは同機関が独自に実施し無料で提供される世界プラチナ市場に関する四半期毎の分析です。本レポートでは、2015年度第2四半期におけるプラチナ需給に関する分析が報告されています。

*Platinum Quarterly*はWPICの出版物です。本書での報告は、白金族元素市場において権威を持つ独立機関SFA(Oxford)に依頼、実施された調査および詳細な分析に基づいています。

***Platinum Quarterly*に示された主要データ概要:**

世界のプラチナ市場は、2015年度第2四半期において供給不足の状態が続き、約55kozの不足となる見通し。

2015年度第2四半期の供給不足が改善された主な理由として、本日のレポートは次の事柄を挙げています。

- 2015年度第1四半期比で生産効率が向上し安全性が改善された南アフリカ鉱山からの供給の増加
- 中国における宝飾品需要の低下。2015年度第1四半期は春節関連の売上による収益が得られたため、これは一部想定済み。
- 地金およびETF需要の急伸長による投資額の急増。直近3四半期における不調から反転。
- 西ヨーロッパにおける自動車販売が好調なため、2015年度第1四半期と同レベルで自動車に対する需要が引き続き堅調であること。

プレスリリース

2015年9月8日 ロンドン

2015年度第2四半期における世界プラチナ総供給量は1,985 koz。鉱山総供給量は1,520 kozの見込み。

- 南アフリカにおける地金生産は、水準を下回る2015年度第1四半期の890 kozから1,080 kozに増加。生産効率および安全性が向上したため。
- ジンバブエおよびロシアからの供給が増加し、2015年度第1四半期比の鉱山供給量増加にそれぞれ20 oz および10 kozの貢献。
- 自動車触媒スクラップからの2次供給が若干少なく、これを宝飾品リサイクルの増加が相殺したため、リサイクルからの供給は四半期比7%増加の465 koz。

2015年度第2四半期における世界のプラチナ総需要量は2,040 koz。2015年度第1四半期と比較して15 koz増。

- 2015年度第2四半期における自動車分野からの需要は、西ヨーロッパおよび北米の主要プラチナ市場における需要が強くなり、875 kozと引き続き堅調。
- 第2四半期におけるプラチナ宝飾品に対する需要見込み量は665 koz。四半期比で11%の減少。第2四半期の中国における需要は若干減少したが、これは春節関連の売上による利益がないため想定済み。店頭におけるプラチナの価格下落と金に関連した顧客数が引き続き低いことが理由。インドにおける宝飾品販売は引き続き伸長しており、第2四半期での全体的な下降を緩和。
- 2015年度第2四半期における工業用の需要は四半期比4%（15 koz）減少となる400 kozの見込み。主な理由は、ガラスおよび化学分野のプラント拡張のタイミングに起伏があるため。
- 地金およびコインの販売増ならびにETF需要増による利益増加を反映して、投資需要が急増。計3四半期を通じた純売上高（Q1は50 koz）から、純購入高45 kozに。この増加の大半は南アフリカの2つのファンドによるもので、両社の保有高は計60 kozの増加。米国の投資家は、2015年度第1四半期に純粋な売りであったものが2015年度第2四半期は控え目な買いに変化。米国投資家のETF保有高が9 koz増加。
- 2015年度第2四半期における地金およびコインの購入合計高は、2015年度第1四半期の35 kozから60 kozに増加。日本の投資家がより低い円建て価格に乗じたため。

2015年度第2四半期における世界のプラチナ市場の供給不足は、2015年度第1四半期 *Platinum Quarterly* 予測の190 kzから445 kozに増加。2015年度第2四半期および第3四半期における投資需要の急増が、見込み額の増加を支持。

- 総供給見込み量は9%増加し、7,910 koz。南アフリカの2014年ストライキからの回復による生産増、およびリサイクルの3%増加を反映。

プレスリリース

2015年9月8日 ロンドン

- 2015年の総需要量は8.355 kozに達する見込みで、これは年間成長の4%。主な理由は投資需要見込みで、日本における地金購入の加速と南アフリカにおける相当量のETF買付を受け、2015年の投資需要見込み量を310 kozに上方修正。
- 自動車、工業、投資における継続的な需要増が、2014年比で2015年の宝飾品向け需要減少を相殺。
- 自動車触媒における2015年の需要は5%増加し、3,445 kozになる見通し。

WPIC 最高経営責任者 Paul Wilson (ポール・ウィルソン)によるコメント:

「*Platinum Quarterly* の第4号によると、2015年度第2四半期における成長が2015年度の不足445 kozを裏付けています。これは5月時点での見込み190 kozを大きく上回るものです。鉱山供給の増加、および一部想定済みの中国における宝飾品需要の季節的な減少を受け、第1四半期の230 kozよりも第2四半期の不足見込みが少ないにもかかわらず、このようになっています。第3および第4四半期は、特に南アフリカのETFの好調により投資家からの需要に前向きな変化がありました。

「前四半期では鉱山における生産向上を受けて鉱山供給が増加しましたが、中期的な見通しはそれほど明るくありませんでした。WPICが独立したコンサルタント会社であるVenmyn Deloitte社に最近委託したレポートによると、年間設備投資額は2008年の年間30億ドルから2015年の1億ドル以下まで下落しており、南アフリカからのプラチナ供給に悪影響を与えています。設備投資額のみを指標として用いた場合、2016年および2017年における南アフリカからの鉱山供給は2015年の水準を著しく下回り、プラチナの需要供給バランスにおける継続的な供給不足に寄与する見込みとなります。

Platinum Quarterly の最新版のダウンロードおよび／または今後調査結果のお受取りの登録をするには、WPICのウェブサイト: www.platinuminvestment.com をご覧ください。

-以上-

プレスリリース

2015年9月8日 ロンドン

供給、需要、地上在庫概要

	2013	2014	2015年度	2015年度/2014 成長率 (%)	2014年度				2014年度前期				
					第3四半期	第4四半期	第1四半期	第2四半期	年度前期	年度後期	年度前期		
供給													
製錬高	6,070	4,880	5,730	17%	1,320	1,420	1,315	1,535	2,140	2,740	2,850		
南アフリカ	4,355	3,115	4,040	30%	870	980	890	1,080	1,265	1,850	1,970		
ジンバブエ	405	405	390	-4%	95	95	95	115	215	190	210		
北米	355	400	385	-4%	105	115	100	100	180	220	200		
ロシア	740	740	705	-5%	200	175	180	190	365	375	370		
その他	215	220	210	-5%	50	55	50	50	115	105	100		
生産者製品在庫における増 (-) / 減 (+)	-215	+350	+115	-67%	+65	-40	+45	-15	+325	+25	+30		
鉱山からの総供給量	5,855	5,230	5,845	12%	1,385	1,380	1,360	1,520	2,465	2,765	2,880		
リサイクル	1,985	2,005	2,065	3%	570	475	435	465	960	1,045	900		
自動車触媒	1,120	1,255	1,380	10%	365	305	315	300	585	670	615		
宝飾	855	740	680	-8%	200	170	120	165	370	370	285		
工業	10	10	5	-50%	5	0	0	0	5	5	0		
総供給量	7,840	7,235	7,910	9%	1,955	1,855	1,795	1,985	3,425	3,810	3,780		
需要													
自動車	3,165	3,295	3,445	5%	775	830	880	875	1,690	1,605	1,755		
自動車触媒	3,030	3,150	3,295	5%	740	795	845	835	1,615	1,535	1,680		
ノンロード	135	145	150	3%	35	35	35	40	75	70	75		
宝飾	2,945	2,990	2,940	-2%	750	685	750	665	1,555	1,435	1,415		
工業	1,545	1,585	1,660	5%	375	415	415	400	795	790	815		
化学	605	580	600	3%	160	135	160	150	285	295	310		
石油	75	105	170	62%	25	25	40	40	55	50	80		
電気	190	190	185	-3%	50	50	45	45	90	100	90		
ガラス	155	165	145	-12%	20	50	35	20	95	70	55		
医療&バイオメディカル	235	240	250	4%	50	70	60	70	120	120	130		
その他	285	305	310	2%	70	85	75	75	150	155	150		
投資	930	150	310	107%	-180	-5	-20	100	335	-185	80		
地金、コインの変化	-10	50			10	35	35	60	5	45	95		
ETF在庫の変化	905	215			-95	-30	-50	45	340	-125	-5		
取引所在庫の変化	35	-115			-95	-10	-5	-5	-10	-105	-10		
総需要量	8,585	8,020	8,355	4%	1,720	1,925	2,025	2,040	4,375	3,645	4,065		
残余量	-745	-785	-445	-43%	235	-70	-230	-55	-950	165	-285		
地上在庫	4,140*	3,395	2,610	-17%	2,680	2,610	2,380	2,325	2,445	2,610	2,325		

出典：SFA (Oxford) 2012年12月31日現在。

プレスリリース

2015年9月8日 ロンドン

メディア関係の方は、CNC Communications までご連絡ください。

Simon Evans (サイモン・エヴァンズ)

電話: +44 (0) 20 3219 8809

wpic@cnc-communications.com

編集者へのメモ :

World Platinum Investment Council について

The World Platinum Investment Council Ltd. (WPIC)は、プラチナ投資に関する世界市場の権威として、客観的で信頼できるプラチナ市場情報に対する投資者の方々の強いご要望を受け設立されました。WPICの使命は、行動可能な見識と目標を定めた製品開発を通して、プラチナに対する世界的な投資需要を喚起することにあります。WPICは、南アフリカの世界6大プラチナ生産会社 (Anglo American Platinum Ltd (アングロ・アメリカン・プラチナ)、Aquarius Platinum Ltd (アクエリアス・プラチナ)、Impala Platinum Holdings Ltd (インパラ・プラチナ・ホールディングス)、Lonmin plc (ロンミン)、Northam Platinum Ltd (ノーザン・プラチナ) および Royal Bafokeng Platinum Ltd (ロイヤル・バフォケン・プラチナ)) により設立されました。

詳しい情報は、ウェブサイトをご覧ください: www.platinuminvestment.com

WPIC 事務局住所: 64 St James's Street, London, SW1A 1NF。

SFA (Oxford) について

2001年に設立されたSFA(Oxford)は、白金族元素市場において最も権威のある独立機関とみなされています。本機関の徹底的な市場調査と整合性は、鉱山、市場、そしてリサイクル業者を始め、他に類を見ない世界的な業界ネットワークにいたる広範なコンサルティング業務により証明されています。

SFAは広く多岐にわたる業界知識を有する専属のPGM分析者からなり、各専門領域は多くの国際的団体のみならず価値連鎖の主要分野に及びます。SFAは、業界の未来に影響する最も困難な質問に対する回答を、お客様に提供することが可能です。

詳しい情報は、ウェブサイトをご覧ください: <http://www.sfa-oxford.com>

プラチナについて

プラチナは世界で最も希少な金属の一つで、様々な需要分野において高く評価される独特の品質があります。プラチナ独特の物理的および触媒的性質は、工業への使用において価値を確立しました。同時に、貴金属としての独特な特質のため、高級宝飾品にも使用されています。

プレスリリース

2015年9月8日 ロンドン

プラチナ供給は、2つの主要供給源、つまり鉱山からの生産とリサイクルによるものです。後者は使用済み自動車触媒と宝飾品のリサイクルが主流となっています。過去5年間の年間プラチナ総供給量(精製済みオンス)の72%から77%は、鉱山生産によるものです。

世界的なプラチナ需要はますます増加、多様化しています。プラチナ需要の4大主要分野は、自動車、工業、宝飾、そして投資用需要です。

過去5年間の自動車触媒からのプラチナ需要は、総需要量の37%から41%の間を推移しています。他工業分野でのプラチナの多様な使用は、世界総需要量の約20%となっています(過去5年間の平均)。同様に、宝飾品への世界的な総需要量は、プラチナ総需要量の34%を占めています(過去5年間の平均)。投資はプラチナ需要のカテゴリーとしては最小でありながら、最も変動し、過去5年間の平均で総需要量の2%から11%を占めています(地上在庫の増減を除く)。